

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスレインボー（単位1）			
○保護者評価実施期間	2026年1月23日		～	2026年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	2026年2月9日		～	2026年2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供が楽しめる多種多様な体験の提供。 SST、スポーツレク、ヨガ、ゲーム、脳トレ、遠足、社会科見学、公園遊び、工作、段ボール工作、駄菓子屋さん、お誕生会、釣り体験、実験、避難訓練、お習字、生き物図鑑、お仕事図鑑、バーチャル旅行、偉人伝説、大型絵本、感覚遊び、音楽遊び、児童館、図書館、ネットの使い方、アイロンビーズ、新年の鑑い、書初め、伝統遊び、節分、ハレンタイン、ひなまつり、メッセージカード作り、七夕、夏祭り、流しそらめん、虫取り、かき氷作り、水遊び、BBQ、ハロウィン、年賀状作り、クリスマス会、子ども忘年会等	子ども連にどのような活動をやりたいか尋ね、実際に取り入れたり、保護者からいただいた提案を参考にしたりしています。職員同士で活動プログラムについて話し合い、こどもの年齢や発達段階、特性を考慮しつつ、楽しくかつ学びの要素を含んだものになるよう、また様々な体験の中から社会性を学ぶことができるよう意識しています。5領域に考慮し、偏りのないようプログラムを組んでいます。	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営
2	事業所内での十分な遊び場の確保ができています。室内遊び（工作やボードゲーム・カードゲーム等）だけではなく、施設内の広場を整備し、外出しなくても外遊び可能な環境づくりをしています。ティーバッティングやサッカー、フリスビーや大縄跳び、砂場遊びをして十分に体を動かすことができています。	集団活動に参加しにくい子に対しては、職員と一緒に見学したり、職員の手伝いをしてもらったりしながら別の形で参加できるように対応をし、無理のないようにしています。	保護者の困り感に寄り添うため、外部講師を招いた研修や講演会等の実施
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催	年1回、合同運動会を行い保護者同士が自然な形で顔を合わせ交流できる場を設けている。 保護者会の開催があまりできていない主な要因として、保護者の就労等による日程調整の難しさ、開催目的や参加メリットの十分な周知ができていないことが考えられる。	今後は、保護者ニーズを把握し、情報共有や交流の目的を明確にし、保護者が参加したメリットを感じられる内容を考えていく。
2	地域の他のこどもと活動する機会	公園や児童館で遊ぶ機会は設けられているが、地域団体や学校、他施設と企画をして交流・活動することはできていない。地域団体や学校、他施設等との連携体制が十分に構築できていないことが考えられる。	小規模な合同活動や行事への参加など、無理のない形から取り組みを始めていきたい。
3			